

～予防接種を受けるときのポイント～

○ポイント1 子どもの体調を最優先

予防接種は、お子さんの体調がよいときに受けるのが原則です。

市から配布された「予防接種と子どもの健康」などを読んで、予防接種の効果や副反応などについて理解したうえで接種しましょう。

分からないことは、接種を受ける前に医師に確認しましょう。

予防接種前^①のチェック

- お子さんの体調は良いですか？
- 今回受ける予防接種について、必要性、効果および副反応など理解していますか？
- 母子健康手帳および保険証等（年齢確認できるもの）は持ちましたか？
- 予診票の記入は済みましたか？
- 予診票は市内の実施医療機関にもあります。

予防接種後^②のチェック（一般的注意）

- 接種後30分は、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応がこの間に起きることがまれにあります。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありません。
- 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、すみやかに医師の診察を受けましょう。

○ポイント2 ワクチンの接種間隔

予防接種で使うワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、異なった種類のワクチンを接種する場合には間隔を守ることが大切です。

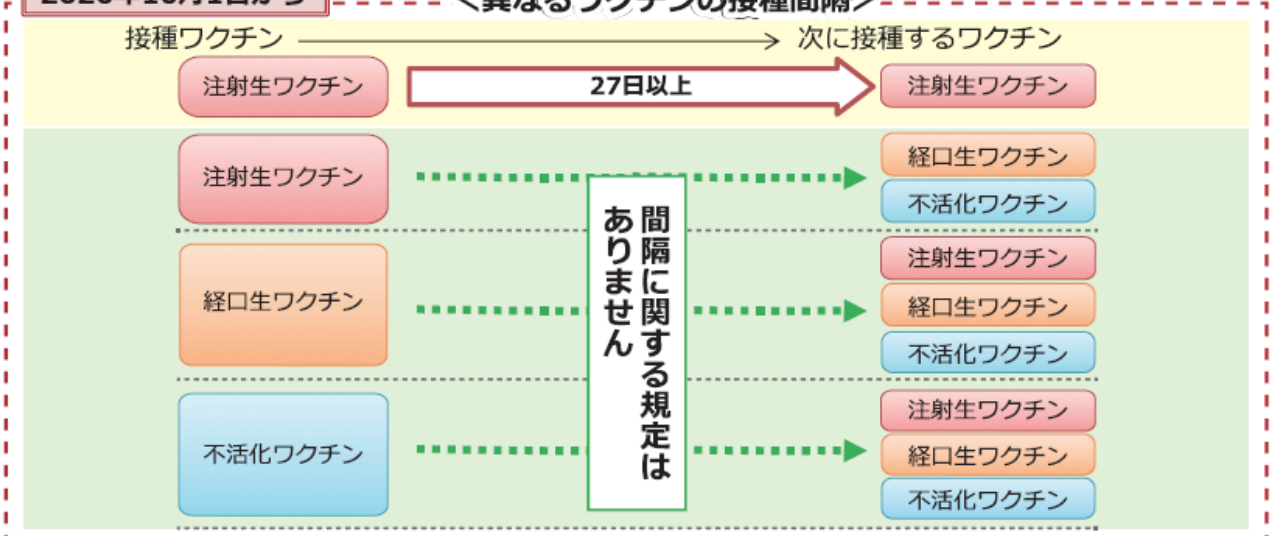
注射生ワクチンを接種した後に、別の種類の注射生ワクチンを接種する場合は、27日以上の間隔をあける必要があります。

なお、同じ種類のワクチンを複数回接種する場合には、それぞれ定められた間隔がありますので、確認の上、接種しましょう。

＜異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔＞

2020年10月1日から

＜異なるワクチンの接種間隔＞



注射生ワクチン

BCG、麻しん風しん、水痘

経口生ワクチン

ロタウイルス

不活化ワクチン

B型肝炎、ヒブ感染症、小児肺炎球菌、ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ、日本脳炎、子宮頸がん